

報道関係各位

2022年11月2日

「Soliton OneGate」が国産 IDaaS 初となるリスクベース認証に対応

株式会社ソリトンシステムズ(代表取締役社長:鎌田信夫、以下ソリトン)は、IDaaS (ID 管理・認証サービス、Identity as a service)の「Soliton OneGate」で、リスクベース認証に対応しました。

企業の DX が進み、重要な情報もクラウドで共有・活用することが一般的となりました。一方、認証情報の悪用やフィッシングなどによるセキュリティ・インシデントも著しく増加しています。この環境変化の中、今、セキュリティ・リスクへの対応、可視化が強く求められています。IDaaS による認証セキュリティの強化は、その効果的な解決策の一つです。

ソリトンシステムズでは、Soliton OneGate に関し、2022年11月初旬、大幅なアップデートを行い、国産 IDaaS 初となるリスクベース認証を実装しました。リスクベース認証では利用デバイス、時間帯、位置情報などからログイン時の行動を動的に評価し、普段とは異なる不審な挙動を検出した場合、認証アプリを用いる追加の認証(2ステップ認証)を求めます。これにより、IT 利用環境の異なるグループ会社や勤務時間帯が異なる海外拠点でも、大きな監視費用をかけることなく、侵入リスクを低減することが可能となります。

今回のアップデートでは、セルフサービスに対応した利用者ポータル、スマホを使用する Windows Sign In、Chromebook への証明書配布などもサポートし、利便性と運用性の更なる向上をはかっています。Soliton OneGate は働く環境の変化に対応し、高いセキュリティと利便性を提供し続けます。



Soliton OneGate 2022, 11 月のアップデートの主な内容

- リスクベース認証 … ログイン行動を評価し、不審なログイン操作を制御
- MFA(多要素認証) … スマホ認証、OTP(メール通知)、2ステップ認証に対応
- Windows サインイン … スマホを利用したパスワードレスでの PC ログオン
- Azure AD 連携 … ユーザー情報の源泉として、Azure AD をサポート
- MDM 連携 … Intune による証明書配布、Chromebook への証明書配布
- アプリロール機能 … 利用できるアプリ・サービスを利用者単位に管理

【2022 秋アップデート版デモ動画】

<https://www.soliton.co.jp/lp/onegate/demo.html>

【 Soliton OneGate について 】

大切な情報を管理しているクラウドサービスを、ID とパスワードだけで利用している状態は、第三者にとって、乗っ取りは容易です。正規の利用者であっても 会社が許可していない端末がアクセスできてしまう環境では、情報漏えいのリスクは大きく高まります。Soliton OneGate(ソリトン ワンゲート)を導入すると、パスワードの脆弱性を解決するデジタル証明書で、利用者と利用端末を特定し、企業の情報を不正アクセスから守ります。

【 Soliton OneGate 製品紹介ページ 】

<https://www.soliton.co.jp/lp/onegate/>

【 株式会社ソリトンシステムズについて 】

設立以来、ソリトンシステムズは IT・エレクトロニクス業界にあって、常に新しい技術トレンドを見据え、いくつもの「日本で初めて」を実現してきました。近年は、認証を中心とした IT セキュリティからサイバー対策製品まで、また、携帯電話回線4G、5G や Wi-Fi を利用したハイビジョン・レベルの映像伝送システム、リモートドライブなどに取り組んでいます。国産メーカーとして、オリジナルの「もの創り」、「独創」にこだわった製品とサービスを提供しています。

設立:1979年、売上173億円(2021年12月期・連結)、東証プライム

HP: <https://www.soliton.co.jp/>

【 Soliton OneGate に関する問合せ先について 】

株式会社ソリトンシステムズ IT セキュリティ事業部

Tel: 03-5360-3811 netsales@soliton.co.jp

【 このリリースに関するマスコミからの問合せ先 】

株式会社ソリトンシステムズ 広報

Tel: 03-5360-3814 press@soliton.co.jp